

『非核・いしかわ』主要記事一覧(第150号～第190号)記事クリックで表示されます

号	発行日	掲載記事	著者など
150号		『非核・いしかわ』150号(2011年1月1日発行)	
		「被爆者医療の現場から見た石川県の原爆症認定の状況」	城北病院 原 和人
		「2010日本平和大会 in 佐世保に参加して」	松井和夫
		非核の政府を求める石川の会のニュースが変わります	編集委員会を開催
151号		『非核・いしかわ』151号(2011年3月1日発行)	
		小松基地の日米統合演習を監視	山野健治
		北陸原水協学校が開かれる	松井和夫
152号		『非核・いしかわ』152号(2011年3月25日発行)	
		「福島第1原発事故について」	核エネルギー問題情報センター 理事 児玉一八
		6・5は核兵器廃絶記念デー 世界同時アクション	報告・神田順一
		「宗教者平和運動交流集会に参加して」	日本聖公会金沢聖ヨハネ教会牧師・矢萩新一
		『命をつなぐリレー』東日本大震災救援品輸送に参加しました	報告者 川本浩平
		《連載》対談＝狂気の時代(第1回) 一再びそれを繰り返さないために一	
			・ 勘 昭三(城北病院名誉院長)
			・ 一塚 保(れとろぎやらりい柳心庵代表)
			・ 永山孝一(金沢建築とまちづくり研究所)
153号		『非核・いしかわ』153号(2011年4月20日発行)	
		福島原発事故 緊急講演会『何が起こったのか?これからどうなるのか?』	
			日本科学者会議京都支部 深尾正之
		『福島原発で何が起きたか』	日本科学者会議石川支部 飯田克平
		『被災地とともに生きる』	小野栄子
		『東京電力福島第1原発事故に対する声明』	核戦争を防止する石川医師の会
		「問い直される固有の風土からの背理」	永山孝一
		《連載》対談＝狂気の時代(第2回) 一再びそれを繰り返さないために一	
154号		『非核・いしかわ』154号(2011年5月20日発行)	
		「福島第1原発事故と放射能汚染」	日本科学者会議石川支部 飯田克平
		「原爆は人間として死ぬことも、人間らしく生きること許さない」	
			日本原水爆被害者団体協議会 事務局次長 岩佐幹三
		《連載》対談＝狂気の時代(第3回) 一再びそれを繰り返さないために一	
155号		『非核・いしかわ』155号(2011年6月17日発行)	
		「2011年国民平和大行進——県内初日、輪島市内を行進」	内藤晴一郎
		ビキニ環礁を航海して	羽咋診療所・横山 隆
		被爆者医療の現場から見た石川県の原爆症認定の状況	城北病院 原 和人
		《連載》対談＝狂気の時代(第4回) 一再びそれを繰り返さないために一	
156号		『非核・いしかわ』156号(2011年7月20日発行)	
		花鳥風月 「箱根八里」	永山孝一
		「核兵器全面禁止のアピール」署名と「原発からの撤退」	
		「志賀原発総点検とエネルギー政策転換を求める」署名を一非核・石川の会常任世話人会	
		2011年国民平和大行進レポート	原水爆禁止石川県協議会 内藤晴一郎
		『はだしのゲン』を若い世代に	核戦争を防止する石川医師の会
		「命と平和の擁護が医師の責務」	
			～被爆証言とはだしのゲンから学ぶ～江守道子(金沢市・歯科)
		《連載》対談＝狂気の時代(最終回) 一再びそれを繰り返さないために一	
157号		『非核・いしかわ』157号(2011年8月20日発行)	
		「原水爆禁止世界大会に参加して」	非核石川常任世話人・尾西洋子
		花鳥風月 「指示待ちの上司の下で」	神田順一
		第23回総会記念講演	
		『21世紀国際社会における危機と挑戦～北アフリカ・中東情勢を中心に』	名古屋大学法学部教授・定形 衛
		抗議声明『米国の未臨界核実験に強く抗議する』	
			非核の政府を求める石川の会代表・井上英夫
		2011年国民平和大行進「全自治体を行進する」一 非核石川常任世話人・内藤晴一郎	
		「母と妹への手紙」	千葉・岩佐 幹三
		叙事川柳の紹介にあたって	和 川柳社代表・岡田一杜

158号	『非核・いしかわ』158号(2011年9月20日発行) 衆議院構成労働委員会・参考人陳述から・『放射線の健康への影響』 東京大学先端科学技術研究センター教授 東京アイソトープ総合センター長・児玉龍彦 (国会での陳述項目は本文をご覧ください) 花鳥風月 「9・11」と「3・11」は全く奇妙な偶然である 松井和夫 「核兵器全面禁止アピール」国際署名の大波を！ 非核の政府石川の会 常任世話人会 原発からの撤退を！9・17原発問題講演会・特別講演要旨 『東日本大震災と復興に向けた新たなブランドデザイン』日本共産党衆議院議員 吉井英勝
159号	『非核・いしかわ』159号(2011年10月20日発行) 花鳥風月 「原発ゼロを実現」 森 昭 『原発からの撤退を！』～9・17原発問題講演会から～日本共産党衆議院議員吉井英勝 「原発はもうこりこり」 福島第1原発から25km、金沢に避難したご夫婦のつぶやき 子どもたちに、核被害の実相を伝えよう——漫画『はだしのゲン』寄贈運動にご協力を 核戦争防止石川医師の会 事務局 小野栄子 カンタータ『悪魔の飽食』全国縦断コンサート石川公演にご支援を 石川公演実行委員会
160号	『非核・いしかわ』160号(2011年11月20日発行) 「沖縄県民の総意を無視して基地をつくるのであれば・・・」 常任世話人 尾西洋子 花鳥風月 「…それでは国民は責任もないのに賠償の責任を負うことになる」 川本 浩平 非核の政府を求める石川の会に団体加入するにあたって 核戦争を防止する石川医師の会・代表世話人 白崎良明 『原爆症認定集団訴訟の到達点と、現在の課題』 原爆症認定訴訟愛知弁護団・事務局長 樽井直樹 憲法公布65周年記念石川県民集会 福島県出身者からの報告 「暮らし方を社会のあり方を、考え直し変えていかなくては」—— なかうちてるこ 福島からの手紙「人間を大切に作る国に今こそ変わって欲しい」 福島県伊達市在住 「志賀原発をめぐる石川県政の動向」 石川県議会議員 佐藤正幸
161号	『非核・いしかわ』161号(2011年12月20日発行) 「戦争の拠点から 平和の拠点へ」 非核石川の会・常任世話人 尾西 洋子 花鳥風月 「齢のせいか涙もろくなった」 松井和夫 『県民ぐるみの基地撤去のたたかい』 非核石川の会・常任世話人 内藤晴一郎 燃料タンク落下事故の原因究明を 小松みなみ診療所事務長 柴原和美 詩人会議かなざわ独標より 「月よ」 「独標」同人 山口 修治 反核医師の会が小中学校に『はだしの・ゲン』を寄贈 小野 栄子 会員投稿 雑誌『世界』11月号特集「再生可能エネルギー」読後記 中村 昭一
162号	『非核・いしかわ』162号(2012年1月20日発行) 「2012年 年頭のご挨拶」 非核石川の会・代表世話人 井上 英夫 花鳥風月 「非核平和行政アンケート」 神田 順一 「核兵器廃絶へのロードマップ」 非核の政府を求める会常任世話人 原 和人 全ての中学校と市立図書館に『はだしのゲン』英語版を ——反核医師の会とプロジェクト・ゲン連名で金沢市長及び金沢市教育長に申入れ 『はだしのゲン』—他言語との交流— プロジェクト・ゲン代表 浅妻南海江 「フクシマに生き、フクシマを生きる」詩人・和合亮一さんの講演を聴いて 木村 勝保 雑誌『経済』12月号『現代アメリカのグローバル戦略とTPP』を読んで 永山 孝一
163号	『非核・いしかわ』163号(2012年2月20日発行) 『核兵器のない世界へ 歴史のページを開こう』 非核の政府を求める石川の会 花鳥風月 「セビーリヤ大聖堂にて」 永山 孝一 「2020年の核廃絶にむけて本気で取り組む」平井竜一逗子市長インタビュー(転載) リレーエッセイ「67年間、それは長すぎないか！」 勘 昭三 「社会保障と税の一体改革について」 あずま こうじ 「故郷(ふるさと)と福島原子力災害事故」 飯田 克平 「原発下請け労働者の実態」 岩原 茂明 『治安維持法犠牲者への 国家賠償法の制定を求める意見書』 ——かほく市議会が全会一致で採択—— 石川県かほく市議会議員 武内 幹雄
164号	『非核・いしかわ』164号(2012年3月20日発行) 「3・1ビキニデーに参加して」 微力ではあるが無力ではない 内藤 晴一郎 花鳥風月 「秘密保全法制」 川本 浩平 『放射線の健康影響』講演録 琉球大学名誉教授 矢ヶ崎 克馬 『悪魔の飽食』七三一部隊の実相=講演録 全日本民医連名誉会長 勘 昭三 『はだしのゲン』を読み終えて 米国・少女からの手紙 プロジェクト・ゲン 金沢海みらい図書館、玉川図書館にも英語版が所蔵される 核戦争を防止するいしかわ医師の会 リレーエッセイ 「死の灰研究会」からの出発 飯田 慈子

	「ベトナムを旅して」江守齒科 江守 道子	
	「自己評価シート」 大森 定嗣	
	『原発問題と裁判所』元金沢地裁裁判長・井戸謙一氏が講演 (非核の政府を求める奈良の会会報より転載)	
165号	『非核・いしかわ』165号(2012年4月20日発行)	
	「お別れの言葉」	
	——前事務局長・森昭さん『お別れの会』にて—— 代表世話人・井上英夫	
	花鳥風月 「森昭さんの名を知ったのは」 松井和夫	
	「森さんの遺稿について」 本会事務局長 神田順一	
	「治安維持法犠牲者への国家賠償法の制定を求める意見書」	
	——かほく市が全会一致で採択 本会相談役 森 昭	
	森 富美子夫人のことば	
	医療・福祉問題講演会 『新たな福祉国家を展望する』	
	～福祉国家と基本法研究会の取り組み～講師 金沢大学大学院教授・井上英夫	
	非核いしかわりレーエッセイ	
	「核と私」 勝木育夫	
	「持論公論」 鴨野幸雄	
166号	『非核・いしかわ』166号(2012年5月20日発行)	
	非核の政府を求める石川の会第24回総会『第24回総会 議案』	
	花鳥風月 「人体の不思議展」のこと 神田順一	
	「原発ゼロの日を迎えて」 中村照夫	
	「保団連原発問題学習交流会・報告」	
	かほく脱原発、エネルギー政策の転換に向けて 西川忠之	
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「大門刑務所訪問」 亀田良典	
	「平和運動との関わり」 川崎俊栄	
167号	『非核・いしかわ』167号(2012年6月20日発行)	
	非核の政府を求める石川の会第24回総会記念講演	
	『核廃絶をめぐる世界と日本の動きと地方の会の活動』	
	非核の政府を求める会事務室長 斎藤俊一	
	花鳥風月 「地表のデザイン」 永山孝一	
	2015年NPT再検討会議に向けて第1回準備委員会で話し合われたこと 原 和人	
	「こころをつなげ願いを伝えたい」 原水爆禁止石川県協議会会員 下 政信	
	『被爆証言』	
	被爆67年目の夏に思う(上) 石川県原爆被災者友の会 中田喜重	
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「アジアの歴史を複眼で学ぶ」 川西徹郎	
	「会報で私が勉強になったこと」 北口吉治	
	編集室より 編集委員会	
	◎野々市市＝今年も中学生7人が広島へ	
	◎被爆者が描いた被爆体験画・展を紹介	
	◎カンタータ「悪魔の飽食」石川公演終わる	
168号	『非核・いしかわ』168号(2012年7月20日発行)	
	『2012年国民平和大行進』	
	今年も全自治体を行進しました	
	花鳥風月 「節電が大きなテーマと」 山中尚史	
	核兵器廃絶国際行動デー報告要旨「チェルノブイリ原発事故の健康被害」	
	原発の危険から子どもを守る医師の会 吉田 均	
	『被爆証言』	
	被爆67年目の夏に思う(下) 石川県原爆被災者友の会 中田喜重	
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「放射化学を学んだ頃」 児玉一八	
	「原爆資料館の再訪」 小牧純爾	
	「被爆、被曝、そして被曝」 佐藤 清	

169号	『非核・いしかわ』169号(2012年8月20日発行)	
	『平和市長会議加盟自治体を訪ねて』	
	第1回 野々市市=24回目の広島への「平和の旅」	
	花鳥風月 「改憲反対運動の高揚を」	川本浩平
	「原水爆世界大会に参加して」	非核・石川の会監事 加藤邦夫
	カンタータ『悪魔の飽食』	
	石川公演を終えて	石川公演実行委員会事務局長 中村昭一
	『被爆証言』	
	被爆67年目の夏に思う(下)	石川県原爆被災者友の会 中田喜重
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「今年のIPPNW世界大会に望むこと」—脱原発から核兵器廃絶へ—	白崎良明
170号	『非核・いしかわ』170号(2012年9月20日発行)	
	平和市長会議加盟自治体を訪ねて	
	内灘町—内灘闘争から60年を学ぶ平和の町—平和の誓い内灘宣言2012	
	花鳥風月 追加調査「はじめに結論ありき」	松井和夫
	原水爆禁止世界大会・報告会	
	「私たち若い人が伝えていかないと…」	内藤晴一郎
	「被爆者の痛みや苦しみに想いを馳せる」	大場美穂
	「私たちの未来に原発はいらない！」	小池深代
	日本科学者会議全国シンポ講演要旨	
	『福島現状と再稼働問題』	福島大学特任教授 伊藤宏之
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「どいね☆原発」に参加	鈴木宏太
171号	『非核・いしかわ』171号(2012年10月20日発行)	
	平和市長会議加盟自治体を訪ねて(第3回)七尾市~平和への祈りをこめて~	
	花鳥風月 「日本は核兵器を持たないまでも」	神田順一
	志賀原発は廃炉に!	
	一原発ゼロ、福島被災者支援—11・11県民集会に参加しよう	
	『オスプレイ配備に反対する県民大会』より	
	「沖縄の青い空は私たちのものだ」	沖縄国際大学学生
	大震災被災地の仮設住宅に	
	「愛と平和のちひろカレンダー」を贈ろう	原水爆禁止石川県協議会
	「ヒロシマから 未来の世代へ」	反核医師の会共同代表世話人 原 和人
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「命ある限り」	谷口清信
	「平和教育・始めた頃」	土田光孝
172号	『非核・いしかわ』172号(2012年11月20日発行)	
	11・11県民集会に1000人—志賀原発は即時廃炉に!—	
	うねりを広げる大きな一歩へ	
	花鳥風月 「よりよき明日」への意志	永山孝一
	石川県保険医協会・原発問題講演会	
	『福島原発の現状と未来』講演	小山裕早(京都入子原子炉が実験所)
	平和市長会議加盟自治体を訪ねて(第4回)	
	京都・金沢市を訪問—毎年『原爆と人間展』を開催	
	核戦争を防止する石川医師の会	
	「はだしのゲン」寄贈運動—野々市市、内灘町、七尾市に広がる—	
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「不公正な税制は廃止を」	中川弘雄
	「核兵器も原発もゼロにすること」	土田光孝
	「非核の日本を目指してやるべきこと」	納口清隆
173号	『非核・いしかわ』173号(2012年12月20日発行)	
	県内自治体を訪ねて 能美市教育委員会を訪問 中学校の修学旅行実施状況を聞く	
	『約25年の歴史—広島へ修学旅行』	
	花鳥風月 「オスプレイ」	川本浩平
	2012年日本平和大会イン東京	
	「米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本めざして」	
	「はだしのゲン」をひろめる会が設立—中沢啓治さんからメッセージが届く—	
	『非核いしかわの会リレーエッセイ』	
	「脱原発」で終わらずに	橋本哲哉
	「ぼくの平和活動」	原 和人

	非核平和をめぐる海外情勢 NPT再検討会議へ「大量破壊兵器の禁止・中東会議」
174号	<p>『非核・いしかわ』174号(2013年1月20日発行)</p> <p>年頭のごあいさつ 「市民の連帯の輪を広げよう」 代表世話人 五十嵐正博</p> <p>花鳥風月 大河ドラマ『八重の桜』 山中尚史</p> <p>非核の政府を求める会シンポジウム 「核兵器禁止条約交渉の決断か核抑止への固執か」 原 和人</p> <p>講演要旨 『脱原発の島で暮らす』 講師 山戸 孝 中沢啓治さんご逝去を悼む 『ゲンは泣かない』 理事長 浅妻南海江 『非核石川の会リレーエッセイ』 「最近思うこと」 松葉 博 「2015年NPT再検討会議に向けて学習を強めよう」 内藤晴一郎</p>
175号	<p>『非核・いしかわ』175号(2013年2月20日発行)</p> <p>講演要旨『核兵器のない世界の展望』 憲法九条と「非核三原則」の輝く日本を 日本原水協代表理事 高早木 博</p> <p>花鳥風月 「真昼に驚愕の北朝鮮の核実験」 松井和夫</p> <p>非核石川の会 リレーエッセイ 「マスコミ報道で国民怒り」 長官 碑 「最近よく感じること」 橋本下任 「私のふるさと玉環山」 尾西 研</p>
176号	<p>『非核・いしかわ』176号(2013年3月20日発行)</p> <p>平和施策行政を訪ねて 輪島市『原爆・被爆絵画展』清水正明医師の写真展へのメッセージ</p> <p>花鳥風月 「平和市長会議は…」 川本浩平</p> <p>3・1ビキニデー2013 「核兵器も原発もない世界へ」に参加して 野村幸三 3・1ビキニデー感想 佐渡亮太 『特別寄稿』 梶井幸代先生を追悼して『先生の言葉』 高柳淳子 原発のない珠洲から 「志賀原発廃炉を目ざして」 北野 進 非核平和の内外情勢—非核の政府を求める会常任世話人会藤田敏彦常任世話人情勢報告— 非核石川の会 リレーエッセイ 「日常」 安田桂子</p>
177号	<p>『非核・いしかわ』177号(2013年4月20日発行)</p> <p>平和施策の拡充を求めて—石川県人権推進室と懇談— 花鳥風月 「金沢の住まいから何を学ぶか」 永山孝一</p> <p>東海北信越ブロック交流会—相談会を金沢で開催— 全国の会からのお礼 事務室長 斎藤俊一</p> <p>井上英夫・退職記念講演会(要旨) 「新たな福祉国家を展望する—人間の尊厳と住み続ける権利—」 文責 長浦久実</p> <p>特別寄稿 「鬼となりても」 友禪染作家 志田弘子 「ヒロシマのある国が」 児童文学者 かつおきんや</p> <p>非核石川の会 リレーエッセイ 「先人たちの不屈性に学びたい」 秋元邦宏 「最近の若い弁護士」 飯森和彦</p>
178号	<p>『非核・いしかわ』178号(2013年5月20日発行)</p> <p>世界大会に向けて—2013年原水爆禁止国民平和大行進 全国から広島・長崎へ行進始まる—神田事務局長と末友雅子さんが県内通し行進者に</p> <p>花鳥風月 日本政府は「核兵器の人的影響に関する共同声明」の署名を拒否 川本浩平</p> <p>平和の旅 「沖縄基地視察・ツアー」に参加して 山口さと子</p> <p>日本の青空Ⅲ 映画「渡されたバトン」を観て 荒木田 成</p> <p>石川県保険医協会総会記念講演・要旨 原発報道—東京新聞「こちら特報部」はこう伝えた— 講師=東京新聞特報部総括デスク 野呂法夫</p> <p>地球上のすべての命を守り、子どもたちの豊かな自然を引き継ぐため、 核兵器廃絶国際行動デイに参加しませんか? 小野栄子</p> <p>非核石川の会 リレーエッセイ 「今、しなければいけないこと」 岩原茂明 「憲法守る力は『聞く力』」 飯森博子</p> <p>編集室より ◎会報176号自治体訪問記より(こ) ◎国民平和大行進県内通し行進者として県下全自治体の訪問記(か)</p>

179号	『非核・いしかわ』179号(2013年6月20日発行)
	会報「非核・いしかわ」を携えて
	平和市長会議事務局を訪問 事務局長 神田順一
	花鳥風月 「自律型ロボット」 山中尚史
	非核石川の会・総会記念講演(要旨)
	「核兵器廃絶・北東アジアと日本の役割」 代表世話人・五十嵐正博
	非核の政府を求める会第28回総会を開催 文責・編集部
	『はだしのゲン』中沢啓治さんの思いを引き継いで 石田優子
	非核石川の会 リレーエッセイ
	「天皇について思うこと」 池亀幸子
	「護憲や原発の新たな共同行動の広がり」に思う 板坂洋介
	編集室より
	2013年原子爆禁止国民平和進行の県内通し行進者として 神田順一
	アーサー・ピナードさんの講演 松井和夫
180号	『非核・いしかわ』180号(2013年7月20日発行)
	2013年原子爆禁止国民平和進行
	平和の願いを一步、一步に込めて一県内通し行進を終えて一 末友雅子
	花鳥風月 「言葉とは何か」 松井和夫
	核兵器廃絶を訴えて 「県内通し行進に挑戦」 神田順一
	「今年も全ての自治体を行進しました」 内藤晴一郎
	第4回核兵器廃絶国際行動デー講演要旨
	「炉は続くよ どこまでも？」(上)講師・アーサー・ピナード (文責・編集部)
	石川県保険医協会講演会・要録
	「メディアが報道しない福島の実態—原発震災後の行政対応と『脱被ばく』の課題」 講師・荒木田 岳
	非核石川の会 リレーエッセイ
	ミュージカル「はだしのゲン」 江口耕平
	編集室より
	◎未来を展望できる選挙結果であってほしい 松井昭夫
	◎ゲンの生き方を次の世代に伝える活動が目白押し 神田順一
181号	『非核・いしかわ』181号(2013年8月20日発行)
	原子爆禁止2013年世界大会参加報告
	私たちは微力ではあるが、無力ではない 事務局長 神田順一
	花鳥風月 『はだしのゲン』のこと 神田順一
	原子爆禁止世界大会に参加して
	「行動し訴え続けることが大事」 西 朋弥
	原発を考える石川女性の会総会
	記念講演『福島・土と生きる』を語る フォトジャーナリスト・大野芳野さん
	「石川でも声をあげよう」と
	被爆二世部会が発足 池田治夫
	第四回核兵器廃絶国際行動デー・講演要旨
	「炉は続くよ どこまでも？」(中)講師・アーサー・ピナード (文責・編集部)
	非核石川の会 リレーエッセイ
	「胸を熱くした平和行進」 川上仁志
	編集室より
	◎集団的自衛権を危惧する 川本浩平
	◎言葉の使われ方の真偽(真義)を見極めねばなるまい 松井和夫
182号	『非核・いしかわ』182号(2013年9月20日発行)
	故・清水正明医師の広島被爆絵画シリーズ紙上展 ①「冷たい乳房」
	梶文秋・輪島市長からのメッセージ
	花鳥風月 輪島市の被爆絵画・証言展のこと 永山孝一
	原子爆禁止世界大会・参加印象記世界市民という視点 横山加奈子
	オスプレイ訓練基地の岩国で開かれる日本平和大会を成功させよう 山野健治
	第四回核兵器廃絶国際行動デー・講演要旨
	「炉は続くよ どこまでも？」(下)講師・アーサー・ピナード (文責・編集部)
	松江市教育委員会 「はだしのゲン」閲覧制限を撤回
	石川の各団体からも松江市教育委員会への抗議文
	NPO法人はだしのゲンをひろめる会 理事長 浅妻南海江
	非核石川の会 リレーエッセイ
	中学生に聞いてみた 北野 昭
	核廃絶運動の発展を願って 倉元浩信
	編集室より
	来年以降も「県内通し行進」を続けていく決意 神田順一
	万を超すツバメの罅入りは圧巻。一度罅入りをお楽しみください 川本浩平

183号	<p>『非核・いしかわ』183号(2013年10月20日発行)</p> <p>2013年日本平和大会in岩国へ池田治夫氏を代表派遣します 花鳥風月 「リピーターの心理条件」と非核運動 川本浩平</p> <p>日本平和大会in岩国の参加にあたって 池田治夫</p> <p>非核石川の会・学習講演会(講演要旨) 福島原発事故と放射線の健康被害をどう考える 講師:児玉一八(本会世話人)</p> <p>昴昭三業績集を出版 「いのちの平等を拓く一患者とともに歩んで60年」 「業績集」編集委員会</p> <p>非核石川の会リレーエッセイ 核兵器を廃棄した国—南アフリカ共和国— 河野 晃</p> <p>非核平和の海外情勢 8月30日 全国の会常任世話人会での海外情勢報告=藤田俊彦常任世話人 (原和人全国の会常任世話人からの報告=文責・編集部)</p> <p>編集室より—地域に生きる人々と共にすすむ“非核・平和運動のひろば”を目指し、 年報の出版など創意ある企画をと語り合っています。</p>
184号	<p>『非核・いしかわ』184号(2013年11月20日発行)</p> <p>志賀原発の再稼働反対・廃炉に・即時ゼロ 原発のある志賀町で 11・9県民集会に600人の熱気! 本会常任世話人 尾西洋子</p> <p>花鳥風月 —太平洋戦争の開戦の日— 開戦に至る経過にこそ真の教訓がある。 山中尚史</p> <p>平和憲法公布67年記念石川県民集会 講演要旨『憲法9条と集団的自衛権』 講師:本会代表世話人・神戸大学石川教授 五十嵐正博</p> <p>非核平和のひろば ・前号掲載の講演要旨「福島原発事故と放射線の健康被害をどう考える」について投稿 ・核戦争を防止する石川の会より 能美市と輪島市の小中学校に漫画「はだしのゲン」を寄贈 能美市教育委員会からお礼状 ・輪島市教育長から「核問題を考える教材として生かしたい」の声</p> <p>非核石川の会リレーエッセイ 「医療・福祉問題研究会と私」 河野すみ子</p> <p>編集室より 非核の政府を求める会ニュースの座談会「地方の会の機関紙づくり」に参加して</p>
185号	<p>『非核・いしかわ』185号(2013年12月20日発行)</p> <p>日本平和大会in岩国基地も軍事同盟もない日本へ 池田治夫</p> <p>花鳥風月 現代における『戦争責任』とは 平和憲法を変質させる勢力に加担することである 松井治夫</p> <p>映画「ひまわり」上映会 沖縄に寄り添い連帯 柴原和美</p> <p>平和憲法公布67年記念石川県民集会 憲法9条と25条～脱核発電所・核兵器廃絶をめざして 白崎良明</p> <p>講演要旨 「学習運動そもそも話」 岡山県労働者学習協議会・事務局長 長久啓太</p> <p>非核平和のひろば ・安全な生活を求める反原発集会を監視! ・書くことは運動の共有化の必須条件</p> <p>編集室より 国民の「知る権利」や「表現の自由」を侵す恐れのある「特定秘密保護法」は 強行採決された。</p>
186号	<p>『非核・いしかわ』186号(2014年1月20日発行)</p> <p>年頭のご挨拶 非核の政府を求める石川の会・代表世話人 井上英夫</p> <p>花鳥風月 『はだしのゲン』閉架措置と金沢市教育長の議会答弁から 神田順一</p> <p>非核平和のひろば 「15年戦争と日本の医学医療研究会北陸支部」を結成 池田治夫</p> <p>非核の政府を求める会シンボから —安倍政権の暴走政治ストップへ— 原 和人</p> <p>原発・いのち・みらい講演会シリーズ～第8回～ 『ことごとくは核軍被はく』 並の八子区築休健助丸城小元村教授 石井江由希</p> <p>・「母の思いを受け継いで」 塩谷道子 ・「安倍死霊魔術師のねらい」 柴原和美 ・「他国と戦争を行えば、日本と原発はどうなるのか」 清水 巍</p> <p>詩人会議かなざわ「独標」より 「けものみち」 池田珠子</p> <p>編集室より 「県の自然環境に向き合う姿勢に疑問が多い」</p>
187号	<p>『非核・いしかわ』187号(2014年2月20日発行)</p> <p>被災60年 3・1ビキニデー 2015年NPTへ向けいま行動を起こす時</p> <p>花鳥風月 「ファッショ的な暴走を阻止する終戦前生まれとしての責務」永山孝一 歴史に学び憲法を活かし、東アジアと世界に平和を</p>

	「建国記念日」反対！ 平和と民主主義を考える集い	講師 土田光孝
	非核と平和のひろば	
	◎県民のための新しい県政を	
	◎「谷善と呼ばれた人」—労働運動家・文学者・政治家として—	北口吉治
	非核石川の会リレーエッセイ	
	・「NHKの異常」	下島章宏
	・「暮らしの安全と安心は住まいから	白崎正子
	編集室より	
	◎3・11集会講師土田光孝氏のこと	松井治夫
	◎初心を忘れず活動を続けてゆきたい	神田順一
188号	『非核・いしかわ』188号（2014年3月20日発行）	
	原発のない新しい石川へ ノーヌークスデーに400人の熱気！	尾西洋子
	花鳥風月 世界に原発は436基あるという	川本浩平
	原発をなくす県民集会「どいね☆原発」参加者が行動よびかけ	郷原リエ子
	熱気あふれた3・1ビキニデー	下 政信
	核兵器の人道的影響に関する国際会議	非核の会常任世話人 原 和人
189号	『非核・いしかわ』189号（2014年4月20日発行）	
	「2015年に国連に要請団を送る石川の会」結成総会が開催	
	安井正和原水協事務局長が記念講演	池田治夫
	花鳥風月 業務の外注化が議論となった	山中尚史
	「標的の村」上映会 「高江から私が伝えたいこと」	伊佐真次
	ビキニ被災から60年核被害の実相を知り、語り継ぐ	小野栄子
	非核平和の海外情勢	非核の政府を求める会常任世話人 原 和人
	非核石川の会リレーエッセイ 『沖縄基地視察ツアー』の体験記	永山孝一
190号	『非核・いしかわ』190号（2014年5月20日発行）	
	花鳥風月 「政治の世界で用語偽装が流行っている」	池田治夫
	講演要旨 「安倍改憲政権の正体」	講師：ジャーナリスト 齋藤貴男
	軍縮・不拡散広島外相会議「広島宣言」について	非核の会常任世話人 原 和人
	非核石川の会リレーエッセイ 「ピース9・合唱団で歌う」	近松美喜子
		「一人でも多くの人が…」
	非核・平和のひろば 南京の空にひびく「紫金草物語」	土田久行 中村昭一